

FUKUSHIMAサイエンスパーク構想を加速する
浜通り拠点の新設について

東 北 大 学

平和で公正な人類社会の実現に貢献
建学の理念を礎として知・人材・社会価値を創出



新たな知識経営体として機能拡張し、社会・世界への波及を拡大

包括連携協定／基本合意書の締結

- ✓ 福島県 (2022.3)
- ✓ 浪江町 (2023.9)
- ✓ 南相馬市 (2024.1) ➡ ロボット研究に関する拠点の開設 (2025.4)
- ✓ 双葉町 (2024.1) ➡ まちづくり研究に関する拠点の開設 (2025.3)
- ✓ 大熊町 (2024.1)
- ✓ 富岡町 (2024.2)
- ✓ 福島国際研究教育機構 (F-REI) (2024.3)
- ➡ 放射線環境生体医学連携講座の設置 (2024.10)



➡➡➡ これら協定等に基づき、
本学研究者等の浜通り地域における活動が活発化

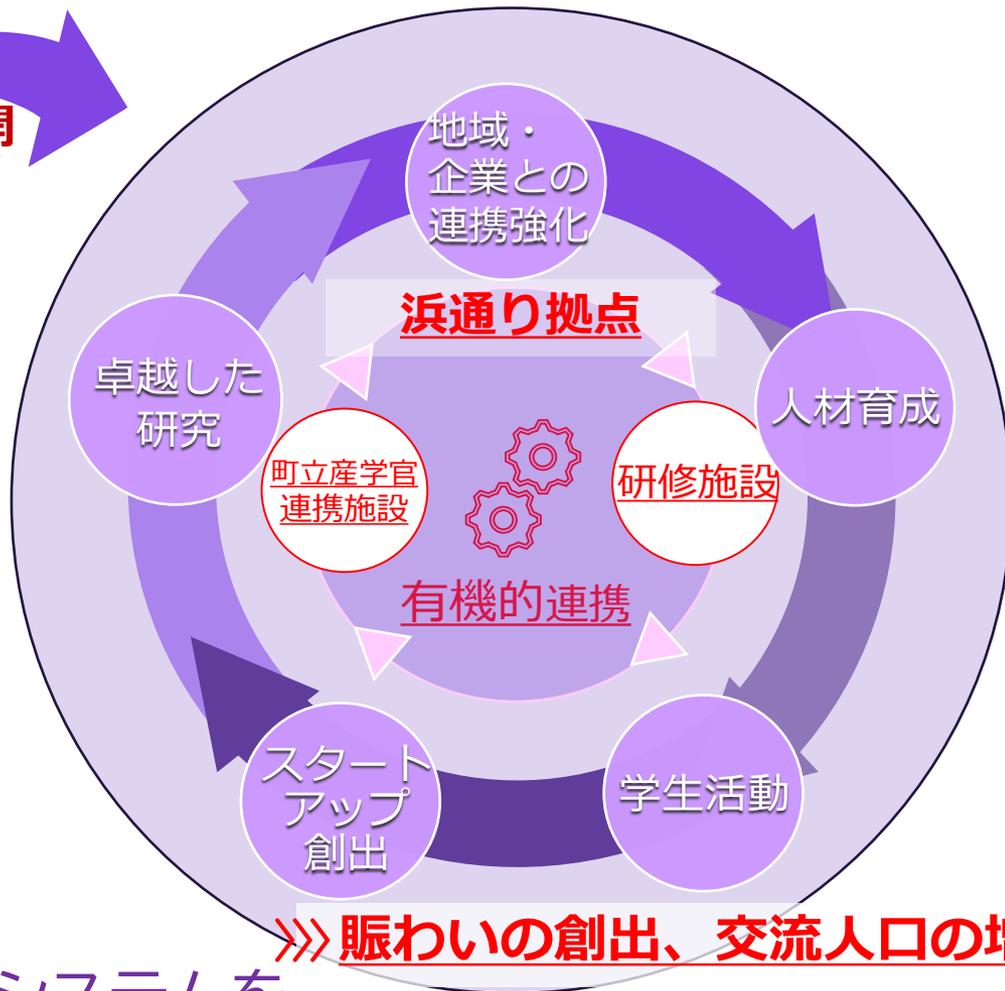
東北大学 サイエンスパーク

東北大学FUKUSHIMAサイエンスパーク 構想

大学・研究機関
企業・国際パートナー
金融機関・VC
スタートアップ etc.

産学連携・
イノベーション
エコシステムの形成

横展開



》》》販わいの創出、交流人口の増

》》》既存のイノベーションエコシステムを横展開することにより、新産業の創出・創造的復興に貢献

東北大学FUKUSHIMA浜通り拠点（仮称）

町立産学官
連携施設内
：研究拠点

(2026年度開設予定)

- F-REI関連研究
 - ・ 水素エネルギーに関する研究
 - ・ 営農再開に関する研究
 - ・ まちづくりに関する研究
- 災害科学に関する研究

研究機能

東北大学
研修施設
：活動拠点
(宿泊機能)

(2027年度開設予定)

- BOSAI人材育成
- アントレプレナー教育
- 学生フィールドワーク
- 留学生等サマープログラム

学生活動等
支援機能

7/10
共同記者会見の様子



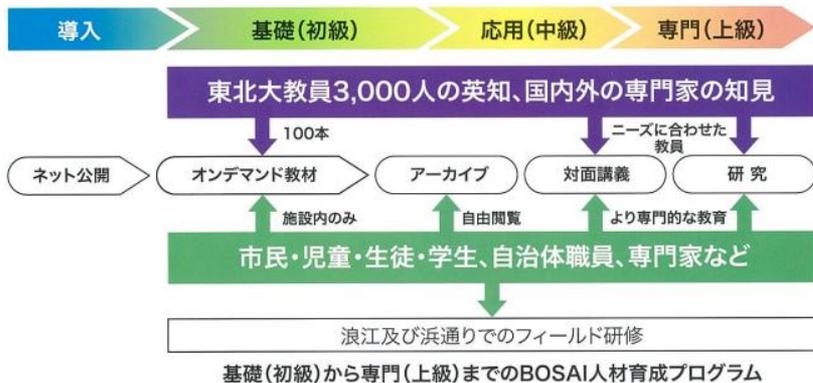
▶▶▶ ポジティブなFUKUSHIMAの世界への発信、
交流人口の増加等により創造的復興へ貢献

東日本大震災以前から現在に至るまで培ってきた防災・減災の最先端研究の知見をベースにしたBOSAI人材育成プログラムを2026年度から提供を開始する予定です。

多くの知見を多くの方に提供できるようにするために、基礎（初級）は、オンデマンド教材となります。応用（中級）以上では、多種多様なニーズに合わせた対面講義やワークショップ等の座学の提供、浜通り地区のフィールドを活かしたプログラムの提供も行う予定です。

また、受講者に対して、適切なプログラムや研究の場を提供するために、専門知識を有するコーディネータの配置も予定しております。

7/11-12に、南相馬市及び大熊町で、
本年度第1回のプログラムを開催！



東北大学は、今般、整備することとした、FUKUSHIMA 浜通り拠点（仮称）を核として、周辺市町村も含めた地域全体における活動を一層活発化し、学生らの訪問機会を増大させ、復興に対する理解を確かなものとし、また、地域の方との交流もさらに促進するなど、この地域の創造的復興に、さらに貢献してまいりたいと考えております。

関係の皆様におかれましても、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。

また、拠点が完成いたしましたら、ぜひ、足をお運びください。